

# アジアゾウ ～大きな骨だゾウ～

## ? アジアゾウってどんな象なの？

この大きな骨の標本は恐竜ではありません。京都市動物園で飼育されていたメスのアジアゾウ（トモ）の骨格標本です。平成13年（2001年）4月17日に呼吸不全で死亡したときの推定年齢は21歳（人間に換算すると46歳）、体重2500kg、体高250cmでした。

アジアゾウはゾウ目（長鼻目）、ゾウ科、アジアゾウ属に分類され、中国南部からインド、インドシナ、マレー半島、スリランカ、スマトラ島などの森林や草原に生息しています。

体はアフリカゾウに比べると小さく、重い頭や体を支えるため、首は短く、足は胴からまっすぐ下に伸びています。食べ物は、草や木の実、果実、木の皮など1日に約150kgを食べます。アジアゾウは1988年に「絶滅危惧種」に指定され、現在は5万頭前後に減っているゾウです。



## ? 長い鼻に骨はあるの？ないの？

ゾウといえば長い鼻が特徴ですが、標本を見て分かるように、鼻に骨はありません。ゾウの鼻は、鼻と上唇がいっしょになって伸びたもので、筋肉がよく発達して伸び縮みします。

鼻は口・手・うで・指の働きもあり、ものをさわったり、つかんだり細かな動きもできます。水は鼻で吸い上げ口に移動して飲みます。1回に吸い上げる量は約6リットルにもなります。



## ? ゾウの歯の特徴って何だろう？

ゾウの歯は意外と少なく、全部で6本です。臼歯（奥歯）が上下2本ずつと牙が2本です。牙は犬歯ではなく、上の門歯（前歯）が伸びたもので一生伸び続けます。ふつう、オスのほうが長くなっています。臼歯は表面が平らな大きな歯です。草や木の葉などを食べるのに適しています。年齢とともに後方より新しい歯が水平に移動し古い歯を押し出して交換されます。一生に6回生え替わります。恐竜や皆さんの歯とも比べてみてください。

## ? 首の骨や足の骨はどのようになっているのだろう？





展示品のゾウの骨格全体を見てみましょう。

首は短いですが、キリンやヒトと同じ7個の骨があります。1つ1つの骨の太さや長さが異なるだけです。また、足は胴からまっすぐ下に伸びています。どこが人間のひざやひじにあたるのか、見てみましょう。



## たんきゅう 探究・研究コーナー！ 調べてみよう！

アジアゾウとアフリカゾウは、同じゾウという分類にはなりますが、いろいろと違いがあります。違いをまとめると次のようになります。アジアゾウとアフリカゾウの違いについて、もっと詳しく調べてみましょう。右の表以外にも体の特徴、性格等をまとめてみると、新たな発見があるかもしれません。

	アジアゾウ	アフリカゾウ
体型	 背中の真ん中が高い	 背中はくぼんでいる
頭と耳	 頬の左右に2つのふくらみ 耳はアフリカゾウよりも小さい	 頭の真ん中にふくらみ 耳は極めて大きい
前あしの指	5本	4本
後あしの指	4本	3本